

農事組合法人 エフ小杉

(新潟県新潟市江南区)

～ 農福連携により労働力を確保し農地を維持 ～



朝採りのスイートコーン(ゴールドラッシュ)



(農)エフ小杉



福祉事業所とのたまねぎの収穫



経緯

- 平成19年2月法人設立。水稻を主に園芸作物も導入。
- 当該地区では以前より、とうもろこしやキャベツ等の露地野菜の栽培が盛んだが、リタイヤする生産者が多くなったため、地域の農地を荒らさないために農地を借り受け、引き続き露地野菜を栽培。
- 栽培面積の拡大により人手不足になる時期があり、平成27年度から新潟市あぐりサポートセンターの紹介により農福連携の取組を開始。
- 農福連携に取り組むまでは、障がい者と接する機会はなかったが、取り組んでからは、人手不足の農業と働く場を確保したい福祉が連携し、お互いの課題を克服する非常に良い取組であると感じている。

取組

- 農福連携により農繁期に安定した労働力を確保することができ、また、リタイヤした生産者の農地を維持することができた。
- 現在連携している福祉事業所とは、今年度で3年目となり、主に露地野菜の定植や収穫の作業をお願いしている。
- 障がい者の根気強く丁寧な作業によって、適期に短期間で収穫することが可能となっており、品質向上につながっている。

今後の展望と課題

- 農作業を通じて、農業者と障がい者の相互理解を深め、社会福祉の向上に貢献したい。
- 種蒔き・定植から収穫までの一連の農作業を経験してもらい、福祉事業所が将来自ら農業を始められるように、できる限りアドバイスしていきたい。
- 福祉事業所が、加工で農福連携に取り組んでいる農業者とも連携を図り、農作物の加工にもチャレンジすることを期待したい。